



ほん よ 本を読むといふことがある？

みなさんはよく「本を読みましよう」と言われることはありませんか？ それは本を読むことで、「想像力」が身につくからです。想像力とは、目に見えないことを思い浮かべたり、経験していないことや現実にはおきていないことを、頭の中で思いえがく力です。それは、困ったことが起きたとき、解決する力にもなります。「考える力」といってもいいでしょう。たとえば…



・本棚の高いところにある本を取りたい。でも、本棚によじのぼって取るのはあぶない。だから、背の高い人にとってもらった。

この場合は【本棚の高いところにある本を取りたい】が【困ったこと】です。でも、【本棚によじのぼって取る】のは、自分もまわりの人もけがをする危険があるということが【想像】できますね。そして【背の高い人にとってもらう】ことで、【解決】できました。もし、本棚によじ登っていたら、しなくてもいいけがをしていたかもしれません。

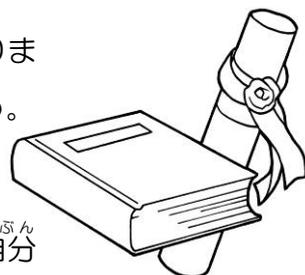
想像力は、自分の身を守る力になります。危険をさけるだけではなく、楽しくすごすためにも大切な力です。普段本を読まない人は、文字の少ない本や、絵本から挑戦してみてもいいです。低学年向けの本を高学年が読んでいいのです。本を読む力も技術のうちですから、最初はだれだって初心者です。年齢なんて関係ありません。勉強だって最初はあいうえおや、1+1を習うところからはじまります。自分に合った、楽しいと思える本を探して読んでみましょう。本を読んで、新しいことを知ると楽しくなってきます。文字が苦手なら、まがでも大丈夫です。まずは本を手にとり、お気に入りの一冊を見つけることから始めてみませんか？読書は楽しいですよ。

かえしわすれ、ありませんか？

☆名張市内小中学校の春休みは、本のかしだしがありません。

3月中にかならず返しましよう。また、長い間借りっぱなしの本はありませんか？特に6年生は卒業までに返すのをわすれないようにしましょう。（何年も前の卒業生が、かりていた本を持ってくることもあります。）

かばんの中、教室、机の中、おうちの中、よく確認してください。もし、自分が本をかりているか分からなかったら、図書室で聞いてみましょう。



名張市学校図書館だより 令和三年度 年度末号 発行…教育センター



● 今回のおすすめ ●
● なぜ読書なのか ●
● おすすめの本紹介 ●



なばりしないしょうがっこう

ねんど

ほん

名張市内小学校2021年度のおすすすめ本！

好評につき、今年も新しく入った本の中から図書担当の先生のおすすめ本を紹介いたします！

名張小学校

『防災のサバイバル』

監修：国崎信江 発行：朝日新聞出版
「一人でいる時に地震が起きたら？」いろいろな場面に心じて自分の身を守るためにどう行動すればよいのかマンガで詳しく学べます。

蔵持小学校

『鳥獣戯画と絵巻物』

監修：山本聡美 発行：あかね書房
6年生の国語教材に出てくるので、興味を持つきっかけになる。読んだ児童が絵巻物を作った。マンガの原点。

薦原小学校

『囚われのアマル』

作：アイシャ・サイド 発行：さ・え・ら書房
パキスタンに暮らす少女の話です。「世の中は公平じゃない！」主人公アマルの叫び。皆さんも一緒に考えてみてはどうですか。

比奈知小学校

『ことばのこぼこ』

作：和田誠 発行：瑞雲舎
2年国語の教科書で紹介されている本です。全部ひらがなでイラストもたくさん読みやすい本です。「なるほど!」「おもしろい!」が詰まった、日本語をより好きになれる本です。

美旗小学校

『手塚治虫からの伝言 SF ショートショート』

作：手塚治虫 発行：童心社
一話一話がそれぞれで完結しています。じっくりと読んでみて、こめられたメッセージを受け取ってください。心に訴えるものがあります。

箕曲小学校

『あなふさぎのジグモンタ』

作：とみながまい 発行：ひさかたチャイルド
低学年の読み聞かせにもよい。ものを大切に使う心、物を作る楽しさ、うれしさが伝わる作品。SDGsにも関わっているのによいと思った。

錦生赤目小学校

『星のカービィ』シリーズ

文：高瀬美恵 発行：KADOKAWA
文字の多い本ですが、カービィの魅力でコツコツと読み進める子が多いです。この本をきっかけに文章から想像する楽しさを味わえるのでは、という本です。

桔梗が丘小学校

『SDGsのきほん 未来のための17の目標』

著：稲葉茂勝 発行：ポプラ社
SDGsについてわかりやすく書かれています。各項目についても一冊ずつ出版されており、社会科や総合で活用できます。

桔梗が丘南小学校

『だいじだいじどーこだ?』

作：えんみ さきこ 発行：大泉書店
からだの大事なところについて、とてもわかりやすく書いてあるので、1年生の性教育にも活用できると思います。みんなが大切な存在であることを考えさせられました。

桔梗が丘東小学校

『いきものかくれんぼ』

文：嶋田泰子 発行：童心社
いろいろな生きものが、自分の身を守るために隠れています。子どもたちとかくれている生きものをさがして楽しむことができるので、読み聞かせにぴったりです。

つつじが丘小学校

『アーヤと魔女』徳間アニメ絵本

原作：ダイアナ・ウィン・ジョーンズ
企画：宮崎駿 監督：宮崎吾郎 発行：徳間書店
絵が多くて読みやすいです。低学年～中学年におすすめです。

すずらん台小学校

『九九をとなえる王子さま』

作：はまの ゆか 発行：あかね書房
九九を学習する2年生にぴったり絵本です。九九が生活の中でどのように活かされているのかがよくわかるお話でした。

梅が丘小学校

『見つけよう 生きものかくれんぼ』

監修：小宮輝之 発行：小峰書店
1年国語科「うみのかくれんぼ」で説明文の学習をし、はまぐり、たこ、もくずしゅい以外のかくれんぼ図鑑を作った。活用し終わってからもいろんなかくれんぼに興味を持った。

百合が丘小学校

『二平方メートルの世界で』

文：前田海音 発行：小学館
3歳から入退院をくり返している作者の作文を元にした絵本。病気だからこそ「一日一日の大切さ」を知っているで「生きていることのすばらしさは気づきにくい」と語っています。

箕曲小からは、『キャラメル色のわたし』（作：ヤン・M・ドレイパー 発行：すずき出版）もおすすめして頂きました。今回も各校バラエティゆたかな本がそろっていますので、ぜひ本選びの参考にしてみてください。